



Title	2015年度 意匠学会作品賞選考結果報告
Author(s)	塚田, 章
Citation	デザイン理論. 2016, 68, p. 5-6
Version Type	VoR
URL	https://doi.org/10.18910/57974
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

2015年度 意匠学会作品賞選考結果報告

学会賞選考委員会

委員長 塚 田 章

受賞作品

大森 正夫氏

「デジタル染色と琳派的デザイン手法による『羽裏』——月待ちに 写り移ろうかがみ池
桜花おもほゆ 白銀の桜——」

受賞理由

大森正夫氏の作品は氏が長年取り組んでいる東山文化に関わる（時間の流れを意識した）研究がベースと成っている。2015年は琳派400年として注目されたが、氏は琳派の造形理念を念頭に「羽裏」と言う着物の特別な部位に着目し、銀閣2層の華頭窓からの景色、月待山に覗いた月をテーマにデザインされている。制作にはデジタル染色という新しいテクノロジーを駆使し、それを友禅職人の手技で仕上げられている。今日、コンピュータでの画像では確認し得ない現物の重要性が認識され、特にフィジカル・プロトタイピングが注目されているが、氏のパネル発表の内容はフィジカル・プロトタイピングを実践するもので今日の研究として高く評価された。



選考経緯

選考は武庫川女子大学甲子園会館で、伊原久裕委員、大森正夫委員、杉本清委員、滝口洋子委員、塚田章（座長）により行われた。以下は展示された作品である。

- ・梅崎 瞳氏 “型染めの表現の可能性と、巨大一枚型の染色”
- ・大森 正夫氏 “デジタル染色と琳派的デザイン手法による『羽裏』——月待ちに 写り移ろうかがみ池 櫻花おもほゆ 白銀の桜——”
- ・加藤 一葉氏 “『HALAL CHECK CARDS』——イスラム教徒と共につくる食のためのコミュニケーションツール——”
- ・坂田 岳彦氏 “香りのUDを考える”
- ・多田羅景太氏 “杉の間伐材を利用したテーブルとスツールのデザインと、制作ワークショップ”
- ・福本 繁樹氏 “織物以前のこと”
- ・山本真紗子氏 “立命館大学アート・リサーチセンター所蔵白地立命館 R 紋意匠伊藤若冲《雪芦鴛鴦図》模様手書友禅染訪問着、白地立命館 R 紋意匠伊藤若冲《葡萄図》模様型友禅染着尺”

パネル発表は7作品であったが、梅崎瞳氏作品展示と福本繁樹氏作品展示及び山本真紗子氏作品展示はそれぞれ研究発表された内容に関わる展示であり、通常のパネル発表の形式とは異なるのでそれらをどの様に扱うかが審議された。また、学会賞選考委員の作品が展示されており選考委員の作品は除外すべきではとの意見もあったが、まずは純粹に展示されている作品で作品賞として顕彰するに相応しいと思う作品を各委員が選抜し、その結果を見て前述の問題に関わるものと成った時に審議を行うと言う方針で審査を行った。それぞれの委員の見解では大森正夫委員の作品が高く評価されることとなった。大森正夫委員は強く辞退を申し出たが選考の規程には選考委員の作品を除外するということは示されておらず、あくまでも展示作品から作品賞として顕彰するに相応しいものを選抜すべきである。作品内容の質を重視する事こそが学会活動では重視すべきという意見から、委員会は大森正夫氏の作品を作品賞として提案する事でまとまった。この結果は2月の役員会で報告されたが、そこでは大森正夫氏は過去に作品賞を受賞されており同一の人が2回受賞することに問題は無いかとの指摘があった。その審議では顕彰される研究の内容が全く異なっており、作品賞は人物に与えられるのでは無く研究成果（作品）に与えられる事を考慮すれば問題は無いと結論となった。